

報 道 資 料

平成29年4月25日（火）

- 件 名 空母ロナルド・レーガン艦載機の着陸訓練の岩国基地予備施設指定に関する国及び米軍等への文書要請結果について
- 概 要 このことについて、山口県基地関係県市町連絡協議会で別紙により文書要請を行いましたので、下記のとおりお知らせします。

記

1. 米海兵隊岩国航空基地司令官への要請結果

- (1) 日 時：平成29年4月25日（火）10：40～11：00
- (2) 場 所：米海兵隊岩国航空基地
- (3) 対応者：米海兵隊岩国航空基地政務・地域対策室長 ジョン・F・ザンブラーノ
- (4) 要請者：山口県基地関係県市町連絡協議会

岩国市／基地政策担当部長 たかた あきひこ 高田 昭彦
山口県／岩国県民局次長 いけづき まさみ 生月 雅美
(協議会構成自治体を代表して要請)

※協議会構成自治体…山口県、岩国市、柳井市、周防大島町、和木町

(5) 回 答：

- ・ 地元のご懸念は理解しており、岩国基地が万が一、着艦訓練の代替施設として使用されることがあれば、情報の速やかな提供にできる限り努める。
- ・ 要請書については、司令官に伝えます。

2. 岩国防衛事務所長への要請結果

- (1) 日 時：平成29年4月25日（火）11：30～11：35
- (2) 場 所：岩国防衛事務所
- (3) 対応者：岩国防衛事務所長 もりかわ あきおみ 森川 顕臣
- (4) 要請者：米海兵隊岩国航空基地への要請者と同じ

(5) 回 答：

- ・ 地元自治体の意向は十分理解している。
- ・ 要請の内容については、直ちに上級機関に報告する。

3. 防衛大臣・中国四国防衛局長への要請結果

- (1) 日 時：平成29年4月25日（火）15：00～15：15
- (2) 場 所：中国四国防衛局
- (3) 対応者：中国四国防衛局企画部長 みやかわ ひとし 宮川 均
- (4) 要請者：山口県基地関係県市町連絡協議会

岩国市／基地政策担当部長 たかた あきひこ 高田 昭彦
山口県／岩国基地対策室次長 ふじた あきひろ 藤田 昭弘
(協議会構成自治体を代表して要請)

(5) 回 答：

- ・ 当省としては、今回の訓練について、米側に対し可能な限り多くの訓練が硫黄島において実施されるよう申し入れたところであり、今後とも引き続き、米側へ求めていく所存である。
- ・ 当局としても、地元自治体の意向は十分に理解しているところであり、去る4月24日、地元自治体への本件に係る通知の際、口頭により受けた要請内容について、本省に伝えているところであるが、本日の文書要請についても、直ちに本省に伝えることとしたい。

その他

外務大臣、駐日米国臨時代理大使、在日米軍司令官及び在日米海軍司令官あての要請書については、本日、郵送した。

岩国基地における空母艦載機の着陸訓練に関する要請書

平成29年4月24日、中国四国防衛局から、天候等の事情により、硫黄島において所要の訓練が実施できない場合には、米空母艦載機の着陸訓練を、5月10日から13日までの間に米軍岩国基地において実施するとの通告を受けました。

県や地元市町では、これまでも、NLPなど激しい騒音被害をもたらす離着陸訓練の実施は容認できないことを、あらゆる機会を通じて、国及び米軍に対して要請してきたところです。

しかしながら、今回もまた、岩国基地において空母艦載機の着陸訓練実施の可能性が示されたことは、誠に遺憾です。この訓練が実施されることとなれば、日常的に航空機騒音に悩まされている基地周辺住民に、なお一層の負担を強いるものであり、地元自治体として容認することはできません。

よって、貴職におかれては、このような状況を十分に認識され、米空母艦載機の着陸訓練については、岩国基地を使用することなく、硫黄島で所要の訓練を完了するよう、また、今後の訓練において、硫黄島の代替施設として岩国基地を指定しないよう、(米側に求めることを)〔※カッコ内は国向け〕強く要請します。

平成29年4月25日

駐日米国臨時代理大使	ジェイソン・P・ハイランド	} 様(各通)
在日米軍司令官	ジェリー・P・マルティネス中将	
在日米海軍司令官	マシュー・J・カーター少将	
米海兵隊岩国航空基地司令官	リチャード F・ファースト大佐	
外務大臣	岸田文雄	
防衛大臣	稲田朋美	
中国四国防衛局長	菅原隆拓	
岩国防衛事務所長	森川顕臣	

山口県基地関係県市町連絡協議会

会長	山口県知事	村岡嗣政
副会長	岩国市長	福田良彦
	柳井市長	井原健太郎
	周防大島町長	椎木巧
	和木町長	米本正明